

H30 妙高西条農園たより NO. 2

平成30年5月23日 (5月号)

米作り農家では、毎年のごとですが5月の連休は休日がないのは例年通りなのですが、今年は特に忙しい日々を過ごすことになってしまいました。毎年3月上旬に農作業以外の行事等と日程調整をし先ずは田植えの日程を決めそれから逆算し種籾の浸水、粃播、発芽保温、ビニールハウスへ移動、苗の生育管理そして田植えを迎えます。苗作りと平行して圃場への肥料播きやミネラル土壌改良材のすき込み、続いて耕耘、代掻き作業を行い田植えが行えるように準備を進めて連休末に家族総出で田植えを実行するのですが、**今年は大トラブルに遭遇**してしまいました。

ウットンバイオスター100倍液をハウス内の苗箱に散布、



メグスリノキ苗木にも散布



植物が活性化され元気になると言われている HB-101 を当農園では以前から使用してきましたが、製法が違いますがやはり植物が元気になると言われています、宮崎みどり製薬のウットンバイオスターを試験的に31.6アールの圃場で3年前から使用し稲の生育状況、収穫量、食味等についてどうなるか、試験栽培を行って来ましたが今年も継続して見たいと思っています。

トラクターでの代掻き作業

腰痛をおしての田植え作業 (運転は10分とは持ちませんでした)



植え付け直前にも散布



前述しました**大トラブル**とは、私が連休中に腰痛 (ギックリ腰) に見舞われ田植え作業はほとんど出来ず畔の上での総監督に徹することになってしまい、孫を含め家族全員の農園スタッフに迷惑をかけてしまいましたが、何とか予定通りに終了することが出来ました。

田植え後の日比谷公園でのイベントでも、腰痛が治らなかったことから、せっかくお出で頂いた方々にも十分な接客が出来ずご迷惑をお掛けしましたことにお許し下さい。

今年は2日目の夕方雨となってしまいましたが、盛会時に終了することが出来ましたことに感謝申し上げます。



田植え終了後のハウス撤去作業

発行者：〒944-0023 新潟県妙高市西条755
妙高西条農園長 池田博子
 ☎ 0255-72-3497 fax 0255-72-2908
 URL : <http://www.kanta.jp> E-mail : ikedata@kanta.jp